

# GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会（第 10 回）

## 議事要旨

日時：令和 6 年 4 月 26 日(金)16 時 30 分から 17 時まで

方式：都庁第一本庁舎 18 階 18A 会議室及びオンライン

### 1. 開会

### 2. 専門部会長の選任について

- ・ GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会専門部会要綱に則り、先日開催した臨海専門部会及び多摩専門部会において今年度の各部会長を互選にて以下のとおり決定した。

臨海専門部会部会長	一般財団法人日本自転車普及協会理事	栗村 修	委員
多摩専門部会部会長	東京都自転車競技連盟会長	中村 賢二	委員

### 3. 審議事項

#### （1）契約案件について

参照：【第 2 回「THE ROAD RACE TOKYO」（仮称）実施計画策定支援及び運営委託について 資料】

#### ① 事業内容

- ・ 大会の開催日、スタート会場、フィニッシュ会場等

#### ② 契約概要

- ・ 契約方式は企画提案方式を予定。
- ・ 5 月 1 日にプレス発表と事業者の公募を開始。
- ・ 6 月上旬頃委託先選定委員会を開催し、委託事業者を決定。

#### ③ 仕様書の概要

- ・ 仕様書本編と仕様書別紙の 2 つから構成。
- ・ 仕様書本編では、委託内容の大枠を記載。主な内容は、開催概要、実施計画の作成、大会

の準備・運営、広報（交通規制）など。

- ・仕様書別紙では、企画・提案事項を詳細に記載。主な内容は、ロードレース競技運営、交通規制・安全対策、一般参加レース、関連イベント、広報など。

#### ④ 企画審査基準

- ・満点は300点。開催準備の根幹である、自転車ロードレース実施計画を110点と大きく配点している。
- ・前回の課題である、広報計画についても60点と大きく配点している。

#### 【委員会からの質問】

(質問)

- ・委託内容には、コースの検討・提案を含めているということか。

(事務局より回答)

- ・男子ロードレースについては、第1回目の仕様書において次回大会のコースを検討することとなっている。現在、コース案がまとまりつつあるため、基本計画という形で指名する事業者に提示する予定である。

(質問)

- ・企画審査基準の広報計画について、前回大会との違いと重要性を詳しく説明していただきたい。

(事務局より回答)

- ・前回大会では、初回ということもあり、都民の方から「大会についてよく知らなかった」、「大会当日、外出しようとしたらなかなかできなかった」、「行きたい駅に行けなかった」という厳しい意見を頂いた。前回の審査基準では、240点満点の40点を広報計画に当てた。次回は、前回の反省を踏まえ、より効率的な計画案を作成いただき、その内容の良い点を評価していきたい。よって、300点中60点としている。

【異議なし】

## 4. 報告事項

(1) THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2023 実施報告

- ・THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2023・チャレンジレース in 味スタの開催概要

開催日時、競技種目、参加人数、実施内容等

- ・大会への満足度の質問に対して、9割以上の方が「満足」と回答。また、一般参加者向けのチャレンジレースについても、8割以上の方から「次回も参加したい」「満足」との回答を頂いた。
- ・一方、「大会開催や交通規制に関する広報にもっと力を入れてほしい」、「歩行者の横断ポイントがわかりづらい」などの厳しい意見を頂いた。
- ・次回大会では、内容の充実を図るとともに、広報計画を改善し、都民、事業者への影響に一層配慮したコース・企画運営を検討していく。

#### 【委員による質問】

(質問)

- ・メインレースはクオリティも高く面白く、イベントも盛り上がっていた。一方で、チャレンジレースや一般参加者向けの自転車イベントの参加者数はどうだったのか。

(事務局より回答)

- ・参加者人数は全体で約550名であった。当初の応募枠は800人を設定していたため、その枠には達しなかったものの、多くの方に来ていただいたと考えている。

(質問)

- ・参加者からのイベントへの評判はどうだったか。

(事務局より回答)

- ・サイクルスクールや一般向けイベントがほかではあまり無いようで、「このような機会があればまた参加したい」、「次回も参加したい」という前向きなコメントを頂いている。

#### (2) レインボーライドマルチスポーツ受託者の決定

- ・令和6年度 GRAND CYCLE TOKYO レインボーライドマルチスポーツイベント実施計画策定支援及び運営委託について、3月22日に技術審査委員会を開催し、審査による技術点と価格点を合わせた総合評価方式にて選定を行った。
- ・受託者は、株式会社フジテレビジョン、ALSOK 常駐警備株式会社共同事業体に決定。

#### 【委員による質問】

(質問)

- ・応募者 3 社のうち、2 社は価格超過で、技術点が一番低いところに決まったようだが、技術的なところでは懸念なくイベントを実施いただけるのか。

(事務局より回答)

- ・結果的に技術点は低いが、提案内容自体は不足ないものである。特に、テレビでの帯番組を活用した情報計画により幅広い層への訴求を狙っているところは、他にはない提案事項であり、評価されているところである。

### (3) 『THE ROAD RACE TOKYO』第 2 回大会開催について

#### ① 主な課題について

##### ・競技性の向上

レース価値、国際発信力向上のため、国際自転車競技連合 (UCI) の公認獲得を目指す。そのため、距離延長 (100km 超)、起伏のある山間部 (獲得標高)、レース終盤エリアにおける周回コースを取り入れたコースへ見直しを図っていく。

##### ・交通規制に伴う地域生活などへの影響緩和

第 1 回大会は八王子地域の周回コースを含み、広範囲な交通規制も実施したため、市民生活やバス事業者等の商業活動へも大きな影響があった。そのため、第 2 回大会は交通量の多い道路やバスの車庫、営業所等を回避するルートを検討する。また、実施する競技プログラム (種目、時間など) についても、規制に伴う交通及び地域生活等への影響等に配慮する。

##### ・開催日程

第 1 回大会は、選手にとってシーズンオフに入った 12 月初旬に開催。次回は、より参加しやすい開催日程とする。

#### ② 主な課題に対する方向性について

##### ・コース及びスタート・フィニッシュ会場

前回大会は八王子市から調布市へ、東京の西から東へ進むコースだったが、次回は山間部もコースに含めるため東から西へ進むコースに変更予定。

スタート会場は、東京 2020 大会と同様、武蔵野の森公園、フィニッシュ会場は、ロードレース競技に必要な条件を満たし大規模路上競技の開催実績もある、青梅市内を想定。ロードレースフィニッシュ会場運営上の要件については、資料参照。

- ・競技実施種目等

第1回大会同様、ロードレースエリート男女、一般参加レース、パラサイクリング、を検討中。

交通規制の影響等も踏まえて、内容については引き続き検討する。

スタート時間は、休日の市民生活等の行動開始時間帯や暑さ対策等を考慮し、前回大会からの前倒しを検討。

- ・開催日程について

大型連休、東京競馬場開催日、東京マラソン等の大規模な交通規制を伴う大会、国内外の自転車ロードレース日程を避けるとともに、2025年特有の世界陸上やデフリンピック、選挙日程等を避けて、次回大会は2025年7月13日（日）に開催予定。

### ③ その他

- ・前回大会では、味の素スタジアムにて STADIUM FESTA を開催した。次回はフィニッシュ会場の青梅市内を中心にイベントを開催していくことを考えている。

### 【委員によるコメント】

#### (コメント)

- ・一般対象向けのイベントについて事業者が提案するというのであれば、一般の方が色々参加できるようにしていくことが大事だと思っている。会場が西に寄れば寄るほど、集客の面で苦労されると思うので、良い提案を選んでいただきたい。

#### (4) プレス発表について

- ・2024年5月1日にプレス発表予定。
- ・THE ROAD RACE TOKYO については、スタート及びフィニッシュ会場を公表。
- ・臨海部レインボーライドについては、ロングコースを3キロ延長し35キロとするほか、参加定員を1,000人増の6,000人をするを公表。

## 5. その他

- ・次回の実行委員会は7月開催を予定している。

## 6. 閉会